科目名（英）	オリエンテーション・導入教育Ⅱ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	岩本・吉田
		授業形態	演習	総時間（単位）	15（1）	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

後期の学習のイメージをつけ、目標設定ができる

【授業を通じての到達目標】

年間のスケジュールが理解できる
授業概要が理解できる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
プロント配布	

回	授 業 概 要	テスト配点
1	【授業単元】 スケジュール確認 【到達目標】 後期のスケジュールが理解できるようになる	
2		
3		
4		
5	【授業単元】 時間割・授業概要理解 就職課有働について・教材理解・教科書理解 【到達目標】 後期の授業概要を理解し、これからの学びのイメージを持つ 自身が今後使用するヘアやメイクの教材について把握し、使用方法が理解できる	
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

【特記事項】

【評価について】

●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	Basic Hairmake Design Ⅰ (Basic Hairmake Design Ⅰ)	必修選択	必須	年次	1	担当教員	大瀬/木本/小林
		授業形態	演習	総時間（単位）	60（4）	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	水曜1，2 水曜3，4 金曜1，2 金曜3，4

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

講師はそれぞれヘアメイク現場経験を有する。様々な場面で活用できるメイクアップ技術や、知識を基礎から学び習得する。

〈講師略歴〉

大瀬：外資系化粧品ブランドで13年以上メイクスキル指導やメイクアップアーティストとして実務。ファッションショーのバックステージやMV、CM等のメイクにも携わる。

木本：モデル事務所でヘアメイクとして広告、イベント、雑誌、ブライダルショーなどを中心に携わる(5年)。その後海外でウェディングヘアメイク、コーディネーターとして経験を積み挙式施工にも携わりながら活動(10年)。帰国後はブライダルを中心に講師としても活動中。

小林：ヘアメイクアーティストに師事後、フリーランスとして現在15年活動中。ファッションショー、雑誌、MV、CM、TV、ドラマ、映画、舞台、ブライダル等様々な現場に携わる。

【授業を通じての到達目標】

メイクアップの基本技術や知識を経て、理論や応用技術を習得し更なる技術向上を目指す。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
メイク道具一式	

回	授業概要	テスト配点
1	トレンドの肌作り、色補正の仕方を学ぶ	
2	国別メイク 韓国 メイクの特徴を理解し習得する	
3	国別メイク 中国 メイクの特徴を理解し習得する	
4	骨格 顔の骨格、パーツごとの形の分析をし骨格を生かしたフルメイクが出来るようになる	小テスト 10点
5	年代メイク メイクの歴史を知り70'sのメイクが出来るようになる	
6	年代メイク メイクの歴史を知り80'sのメイクが出来るようになる	
7	中間テスト課題を時間内に完成させる	中間テスト 20点
8	印象メイク 印象・イメージが伝わるメイクを学び特徴を理解する 色・形・質感	
9	ポイントメイク強化 アイライン、アイブロウ、リップの形、ブラシワークのブラッシュアップ	
10	変身メイク 老けメイクを体験し年齢層に合わせたメイク方法を理解し学ぶ	
11	ブライダルメイク ナチュラルで華やかな映えメイクを学ぶ	小テスト 12回目と連動で合計10点
12	ステージメイク ステージ映えするメイクを学ぶ	小テスト 11回目と連動で合計10点
13	成人式、和装メイク 現代和装、古典和装を学び習得する	
14	定期テスト課題の練習をし、技術の向上と習得する	
15	定期テスト課題を時間内に完成させる	定期テスト 60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	Basic Hairmake Design Ⅱ（Basic Hairmake Design Ⅱ）	必修選択	必須	年次	1	担当教員	木本/大井/中村/大野
		授業形態	演習	総時間（単位）	60（4）	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	水曜1,2 水曜3,4 金曜1,2 金曜3,4

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

実際に現場で働く講師よりトレンドを学びながら基礎の土台を固める。
ウィッグを用いてはじめての技術を練習した後、プロフェッショナルの技術を身に付ける為の基礎技術と理論を修得する。

〈講師経歴〉
木本：モデル事務所にてヘアメイクとして5年勤務。広告、イベント、雑誌、ブライダルショー等を中心に活動。その後海外でウェディングヘアメイク、コーディネーターとして経歴を積み、10年挙式施行にも携わり活動をの幅を広げる。帰国後フリーランスになりブライダルを中心に講師としても活動中。
大井：ブライダル業界ではサロン勤務やフリーランスとして15年以上従事し、その他にもファッションショー、雑誌の撮影、舞台等20年以上にわたり幅広く現役で活動している。
中村：美容師を経て、フリーランスとしてセットサロンに所属しながら声優、舞台、ショー、イベント、ブライダルのヘアメイクに従事。セットサロンでは15年以上スタッフ育成の講師も務める。
大野：ヘアメイク事務所所属後、フリーランスに変更。ブライダルを主に、舞台、TV、ヘアメイクスクール講師等で活動。現在ではヘアセット専門サロンを中心に活動中。

【授業を通じての到達目標】

ベーシックなスタイルからトレンドのスタイルまで幅広く基礎技術を身に付け、サロンスタイルや現場実習に対応出来る力を習得する

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
ヘア教材一式	

回	授業概要	テスト配点
1	【ホットカーラー】 ホットカーラーの巻き方と構成を学び、全頭巻けるようになる	
2	【ホットカーラー+コテ巻き+スタイル①】ウィッグ 仕込みにホットカーラー、コテ巻きして、スタイルを完成させる	
3	【ホットカーラー+コテ巻き+スタイル②】ウィッグ 仕込みにホットカーラー、コテ巻きして、スタイルを完成させる	
4	【ホットカーラー+コテ巻き+スタイル③】ウィッグ 仕込みにホットカーラー、コテ巻きして、スタイルを完成させる	
5	【スタイル①～③選択】相モデル 2～4回目で習得したスタイルを相モデルで完成させる	
6	【スタイル①～③選択】相モデル 2～4回目で習得したスタイルを相モデルで完成させる	小テスト10点
7	【スタイル④】ウィック 流行スタイルを完成させる（中間テスト練習）	
8	【スタイル④】ウィック 流行スタイルを完成させる	中間テスト20点
9	【成人式スタイル⑤】ウィック 成人式向けのヘアスタイルを習得する/お飾りの付け方を学ぶ	
10	【成人式スタイル⑥】ウィック 成人式向けのヘアスタイルを習得する/お飾りの付け方を学ぶ	
11	【成人式スタイル⑦】相モデル 成人式向けのヘアスタイルを習得する	
12	【成人式スタイル⑧】相モデル 成人式ヘアスタイルを習得する	小テスト10点
13	【似合わせスタイル】相モデル 似合わせの技術を学び相モデルにてスタイルを完成させる	
14	【似合わせスタイル】相モデル 1年間の技術を用いて似合わせスタイルを完成させる（定期テスト練習）	
15	【似合わせスタイル】相モデル 1年間の技術を用いて似合わせスタイルを完成させる	定期テスト60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	Photo Shooting Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	今井 木本 松本 堤 秋本 鈴木 久保 清水 大瀬 高石 永井 佐藤
		授業形態	演習	総時間（単位）	15（1）	開講区分	前期
学科・ｺｰｽ	ヘアメイク科					曜日・時間	集中

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

実務経験豊富なヘアーメイクアーティストからヘアーの応用技術を学ぶ。
学んできた基礎をもとに様々な技術を組み合わせたスタイルに挑戦し、人頭の施術を通して髪質、カットラインに合わせた技術選択や、
モデルやイメージに合わせた構成を学び、バリエーション豊かなデザインを表現することができるようになる。

<講師経歴>
今井：音楽系芸能プロダクションにヘアーメイクとして所属。Liveや音楽番組を中心に活動。撮影スタジオ勤務にて広告、雑誌等のスチール撮影を担当し、6年後フリーランスへ。ブランドメイクアーティスト、舞台、TV、イベント等、様々なジャンルの業務に携わった経験を活かし、講師とフリーランスヘアーメイクにて活動中。
木本：モデル事務所にてヘアメイクとして5年勤務。広告、イベント、雑誌、ブライダルショー等を中心に活動。その後海外でウェディングヘアメイク、コーディネーターとして経歴を積み、10年挙式施行にも携わり活動をの幅を広げる。帰国後フリーランスになりブライダルを中心に講師としても活動中。
松本：美容学校を最優秀で卒業後、心斎橋のサロンに入社、拠点を東京へ移し独立。現在も国内外のアーティストやタレントを担当しており、広告、カタログ、イベントやショーなど多岐に渡る分野で活動中。
堤：外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告、バックステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティストとして現役で活動。（12年）
秋本：外資系化粧品ブランドで4年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、CM、バックステージ（国内・外）、パーソナルメイクサロンとして活動中
鈴木：外資系ブランドで2年間勤務後フリーランスと活動。主にメンズ、ステージメイク等を行っている（10年）
久保：外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティストとして現役で活動（12年）
清水：外資系化粧品ブランドで勤務後、フリーランスヘアメイクとしてファッションショー、スチール撮影に携わる。
大瀬：外資系化粧品ブランドで10年以上メイクアップアーティストとして実務。バックステージMV等のメイクの経験も有する。
高石：高校在学中に美容学校と並行しヘアサロン勤務を始める。国内外で活躍するHair&Make-up Artist Eita氏に3年師事した後独立。自身でも渡仏しParis Fashion weekのヘアチームの現場を経験する等、活動の幅を広げる。美容業に携わり現在16年以上のキャリアになる。タレント、雑誌、広告の現場やアーティストグループからの指名もあり、ミュージックビデオのヘアメイクやヘアウィッグ、ヘッドピースの製作とアートワークにも力を入れている。様々な現場経験を活かして多様なヘアメイクスキルを伝えていきたいと、現在講師の仕事でも活動中。
永井：アパレル業界（8年）を経て美容に転身し15年。現在はブライダル（8年）を中心に活動し着付師としても活躍。セットサロン（5年）、雑誌、広告、テレビ局の経験も有り。
佐藤：表参道のサロンで10年勤務後フリーランスで活動しながら芸能事務所にヘアメイクアーティストとして所属。撮影は主にアパレルのカタログやムック、アーティストのアー写や雑誌媒体など。現在は美容師としてサロンワークしながらフリーで活動。講師としてのキャリアもあり、美容師とヘアメイク、広い視点で教育にも携わる。

【授業を通じての到達目標】

与えられたテーマを元に、スチール用にモデルをヘアメイクできるようになる。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
ヘアメイク道具一式	

回	授 業 概 要	テスト配点
1	【授業単元】 スタジオワークデモンストレーションA 【到達目標】 撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認。モデルのケアの仕方や立ち振る舞いを手本に、個々の現場や作品撮りに生かす。	
2		
3	【授業単元】 スタジオワークデモンストレーションB 【到達目標】 撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認。モデルのケアの仕方や立ち振る舞いを手本に、個々の現場や作品撮りに生かす。	
4		
5	【授業単元】 イメージヘアメイク①A 【到達目標】 イメージ（人物像）が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。	
6		
7	【授業単元】 イメージヘアメイク①B 【到達目標】 イメージ（人物像）が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。	
8		
9	【授業単元】 イメージヘアメイク②A 【到達目標】 イメージ（人物像）が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。	
10		
11	【授業単元】 イメージヘアメイク②B 【到達目標】 イメージ（人物像）が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。	
12		
13	【授業単元】 ビジュアルコピーヘアメイク AB合同 【到達目標】 コピー元ビジュアルを再現するにあたり、研究とリサーチが十分か。 モデルに似合ったビジュアルになっているかが基準。	
14		
15	【授業単元】 クリエイティブヘアメイク 【到達目標】 主にフォトコンで賞を取るような作品のディレクションやアイデアを研究する。	

【特記事項】

【評価について】

●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	きもの着付け演習（初傳）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	中澤・岡野
		授業形態	実習	総時間（単位）	15（1）	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

長きに渡り、着物着付師・着物講師指導にあたり、自らも和装ブライダルの花婿・花嫁の着付を手掛ける教員が冠婚葬祭の基礎知識をわかりやすく解説し、現代のニーズに応えられる上質の和装着付を実施する。
授業内容
基礎の浴衣から小紋の着付までを一人で着ることができるようになる。
自装を器具等を使用せず、どのような現場でも通用する技術を習得する。

【授業を通じての到達目標】

一人で着る着付けが出来る→小紋の着付けと名古屋帯の一重太鼓の帯結びができるようになる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
一般財団法人国際美容協会のきもの着つけ教本	

回	授 業 概 要	テスト配点
1	着付け前の着物の準備の仕方を覚える（小紋の着付け）	
2		
3		
4	帯結び名古屋帯の準備の仕方から一重太鼓の結び方	中間テスト 20
5		
6		小テスト 20
7	帯あげ帯じめまで鏡を見ないでできるようになる	
8		定期テスト 60
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
　評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	コンテスト	必修選択	必修	年次	1	担当教員	岩本・吉田
		授業形態	演習	総時間（単位）	15（1）	開講区分	後期
学科・ｺｰｽ	ヘアメイク科					曜日・時間	集中

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

1年次の学びを活かし、創造的な作品を発表する

【授業を通じての到達目標】

ウィッグを対象に、コンセプトどおりの作品を表現する

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
毎授業時に配布	

回	授 業 概 要	テスト配点
1	【授業単元】 コンセプト作成及び仕込み	
2		
3		
4		
5		
6	【到達目標】 テーマを基に、イメージを膨らませコンセプトシートに落とし込む コンセプトをもとに、必要な材料をそろえる	
7		
8		
9	【授業単元】 コンセプト発表	
10		
11		
12		
13	【到達目標】 コンセプトシートを基に、ウィッグにヘアメイクを施す 制限時間内で仕上げ、プレゼンテーションを行う	
14		
15		

【特記事項】

【評価について】

●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	デザインイラスト演習（集中）（Design Illust）	必修選択	必須	年次	1	担当教員	今井
学科・コース	ヘアメイク科	授業形態	演習	総時間（単位）	15（1）	開講区分	後期
						曜日・時間	月曜1，2，3，4

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）講師50音順

今井）音楽系芸能プロダクションにヘアーメイクとして所属。Liveや音楽番組を中心に活動。撮影スタジオ勤務にて広告、雑誌等のスチール撮影を担当し、6年後フリーランスへ。ブランドメイクアーティスト、舞台、TV、イベント等、様々なジャンルの業務に携わった経験を活かし、講師とフリーランスヘアーメイクにて活動中。美容、アパレル業界を中心にブランディング、商品開発に携わり、イラストデータによる各デザイン画の提案もしている。

上記講師にて、イラスト、メイクフェイスチャート、デザインについての授業を展開します。

【授業を通じての到達目標】

ウィッグコンテスト時に使用するコンセプトシートの描き方(メイク道具)を習得、オリジナルデザイン作成にむけて選択肢を広げる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
teamsコマシラバスに記載	

回	授 業 概 要	テスト配点
1	コンセプトシート作成　※フェイスチャート、ヘアー、装飾を含むデザイン画（ウィッグコンテスト対応）	

【特記事項】持ち物はメイク道具一式とコンセプトシートに貼り付けたい素材などもあれば持参。（詳しくはコマシラバスで授業内容も確認の上準備してください）

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）　D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	プロフェッショナルへの道Ⅱ（professional seminarⅡ）	必修選択	必須	年次	1	担当教員	岩本・吉田
		授業形態	演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	水曜2,3限

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ヘアメイク業界の理解を深め、社会人として必要な教養・マナーを学び、現場実習に活かすことが出来る
ヘアメイクの業種・分野を理解し、自身の将来像を明確にすることができる
就職活動における基盤を作り、スムーズに実践できるようになる

【授業を通じての到達目標】

美容のプロになるために必要な業界知識や流れを理解し、ヘアメイクの分野に合わせたビジョンを組み立てることが出来る
目指すヘアメイク分野の業界を知り、方向性を見出し、自主的に行動できるようになる
自己分析することができ、就職活動における基本的な履歴書作成ができるようになる
志望する業種・分野をしぼることができ、インターンや現場実習に積極的に参加することができる

【使用教科書・教材・参考書】	【持ち物】
毎授業時にteams共有	就職活動ノート・筆記用具

回	授業概要	テスト配点
1	前期を振り返り、後期目標を設定し、自己変革期に向けスタートを切る 後期授業・スケジュール・を理解し、自分自身で今後のスケジューリングが出来る 就職活動の流れを理解することが出来る【就職活動ノート①】	
2	在校生（2年生）の話を聞き、進路・就職活動について考える 就職活動ルールを理解することができる【就職活動ノート②】	小テスト5点
3	履歴書のルール・マナーを理解し、左半分を完成させることができる【就職活動ノート③】	
4	卒業生（HM・BR）の話を聞き、進路・就職活動について考える 自己分析を行い、自分自身について専門的に知り、内容をまとめることが出来る【就職活動ノート④】	
5	他己分析を行い、他人の長所発見とシェアが出来る より客観的に自分の長所について理解し、まとめることができる【就職活動ノート⑤】	小テスト5点
6	卒業生or業界（セットサロン・美容師・アイリスト）の話を聞き、進路・就職活動について考える プレ職種決定アンケート①にて自分の進路について真剣に考える	
7	【中間テスト】6週目までの内容を理解し、アウトプットすることができる 自己PRの書き方のポイントを知り、2つの文章を完成することが出来る【就職活動ノート⑥】	中間テスト20点
8	卒業生（HM）の話を聞き、進路・就職活動について考える 志望動機の書き方のポイントを知り、文章を完成することが出来る【就職活動ノート⑦】	
9	履歴書完成させ、学校提出を完了できる	
10	プレ職種決定アンケート②にて自分の進路について真剣に考えることができる 選択職種の業界研究・業界研究シート作成	
11	選択職種の業界研究・業界研究シート作成 作った業界研究に沿って効果的なプレゼンテーションの練習をすることが出来る	
12	業界研究シート作成発表 相手に見やすく・分かりやすくシートをまとめることができる 自分の思いをのせて、堂々とプレゼンテーションが出来る	小テスト10点 （期限内提出点　5点 発表点　5点）
13	（確定版）職種決定アンケートにて今後自分が進む進路に向けて決意を新たにする 集団模擬面接のマナー・礼儀・ポイントを理解する	
14	集団模擬面接練習 受験生側と面接官側の両方を体感し、気づきを得ることが出来る	
15	【定期テスト】集団模擬面接試験 面接試験を行い、入退室マナー・自己PR・長所短所などについて面接官からフィードバックを受け 出来ているところ・努力すべきところを把握できる	定期テスト60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	ヘアメイク総合技術Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	堤・久保・秋本・大瀬
		授業形態	実技	総時間（単位）	60（4）	開講区分	後期
学科・ｺｰｽ	ヘアメイク科					曜日・時間	木曜日

【学習の目的】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

〈久保〉外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告、バックステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティストとして現役で活動。（12年）
〈堤〉外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告、バックステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティストとして現役で活動。（12年）
〈秋本〉外資系化粧品ブランドで4年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、CM、バックステージ（国内・外）、パーソナルメイクサロンとして活動中
〈大瀬〉外資系化粧品ブランドで10年以上メイクアップアーティストとして実務。バックステージMV等のメイクの経験も有する。

年代に合わせたメイクアップ技術を学び施術できるようになる　また学んだ内容を作品におこし、写真として納める
トレンドのリサーチを行いメイクにて表現できるようになる

メイクの基礎技術だけでなく、応用的な技術、デザイン力、バランス力を身につけられるようになる。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】

回		テスト配点
1	スチール導入	
2	年代メイク　30'【つけまつ毛】	
3	年代メイク　50's	
4	年代メイク　60's【つけまつ毛】	
5	スチールメイク	
6	スチールメイク　【中間テスト】	20点
7	スチール練習合同　【外部モデル】	5点
8	コンテスト導入	5点
9	SSトレンドメイク	
10	SSトレンドメイク	
11	フェイスペイント	
12	ウィッグ作成	5点
13	ウィッグ作成	
14	テスト練習	5点
15	定期テスト	60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
Ａ評価（90～100点）/Ｂ評価（80～89点）/Ｃ評価（70～79点）　Ｄ評価（60～69点）
Ｅ評価（出席不良・評価資格喪失）/Ｆ評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化

科目名（英）	ヘアメイク総合技術Ⅱ	必修選択	必須	年次	1	担当教員	今井／木本／清水　永井／佐藤／佑紀子
		授業形態	演習	総時間（単位）	60（4）	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	木曜1，2，3，4

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）講師50音順

今井）音楽系芸能プロダクションにヘアーメイクとして所属。Liveや音楽番組を中心に活動。撮影スタジオ勤務にて広告、雑誌等のスチール撮影を担当し、6年後フリーランスへ。ブランドメイクアーティスト、舞台、TV、イベント等、様々なジャンルの業務に携わった経験を活かし、講師とフリーランスヘアーメイクにて活動中。

木本）モデル事務所にてヘアメイクとして5年勤務し広告、イベント、雑誌、ブライダルショーなどを中心に活動。その後海外でウェディングヘアメイク、コーディネーターとして経験を積み10年挙式施行にも携わり活動の幅を広げる。帰国後フリーランスになりブライダルを中心にこれまでの経験を活かし講師としても活動中。

清水）外資系化粧品ブランドで勤務後、フリーランスヘアメイクとしてファッションショー、スチール撮影に携わる。

永井）アパレル業界を経て美容に転身。セットサロンに所属しながらファッション誌、広告の撮影、テレビ局勤務。現在はブライダルを中心に活動し、花嫁担当、多数会場との契約。着付け師としても活躍。ボディペイント、ボディアートにも幅を広げ、イベント関係等で出店。経験を活かし、トータルコーディネート力を伝えて行きたい。

佐藤）表参道のサロンで10年勤務後フリーランスで活動しながら芸能事務所にヘアメイクアーティストとして所属。撮影は主にアパレルのカタログやムック、アーティストのアー写や雑誌媒体など。現在は美容師としてサロンワークしながらフリーで活動。講師としてのキャリアもあり、美容師とヘアメイク、広い視点で教育にも携わる。

佑紀子）美容学校を最優秀で卒業後、心斎橋のサロンに入社、拠点を東京へ移し独立。現在も国内外のアーティストやタレントを担当しており、広告、カタログ、イベントやショーなど多岐に渡る分野で活動中。

上記講師メンバーにて、現場でのヘアーメイクを想定した基礎、応用ヘアースタイルについての授業を展開します。

【授業を通じての到達目標】

実際に人に施すヘアーを想定し、実技授業にて、基礎技術とデザイニングやヘアー構成についての知識、ヘアープロダクト（スタイリング剤）の使用方法を習得。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
teamsコマシラバスに記載	

回	授　業　概　要	テスト配点
1	スチール撮影導入	
2	バリエーション技術の習得	10
3	バリエーション技術の習得	10
4	バリエーション技術の習得　中間テスト（モデルキャスティング締切）	20
5	スチール撮影デザインヘアー試作	
6	スチール撮影デザインヘアー練習(ヘアー&メイク)（背景紙色選択アンケート）	
7	スチール撮影デザイン　練習（香盤表仮決定→モデル都合時間帯調整）	
8	スチール撮影デザイン最終確認　練習(ヘアー&メイク)（香盤表最終決定）	
9	スチール撮影表彰式、ウィッグコンテスト導入	
10	ウィッグコンテストヘアーデザイン試作（冬休み前最終授業）	
11	ウィッグコンテストヘアー練習（希望者カラーカウンセリング、カット）	
12	ウィッグコンテストヘアー練習（カラー準備）	
13	ウィッグコンテストヘアー練習（カラー準備）	
14	ウィッグコンテストヘアー練習　70分タイム計測　定期テスト	60
15	ウィッグコンテストヘアー練習（メイクとのバランス）	

【特記事項】スチール撮影やウィッグコンテスト対応の授業内容では、様々な詳細の伝達や、締切事項が発生します。授業内での伝達をしっかり理解し、欠席した際には前回コマシラバスや、資料などを見て、内容を把握した状態で次回時を迎えるようにしてください。
（1回目持ち物：アイパッド、電子ペン※要充電済）

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）　D評価（60～69点）　E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	業界研究Ⅱ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	今井　阿部　吉田　高橋
		授業形態	演習	総時間（単位）	15（1）	開講区分	通年
学科・ｺｰｽ	ヘアメイク科					曜日・時間	集中

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

現場のヘアメイクの方からやりがいやトレンド、仕事の内容を伺い、将来の仕事のイメージをつける

【授業を通じての到達目標】

自身が将来進みたい分野の仕事のイメージつけることができる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
資料・教材は毎授業時に配布	授業によって自宅課題あり

回	授業概要	テスト配点
1	【授業単元】 ヘアメイクの働き方（事務所） 【到達目標】 事務所で働くヘアメイクのイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、学んだことを言語化して振り返ることができる	
2		
3	【授業単元】 ヘアメイクの働き方（スチール・広告） 【到達目標】 スチールや広告等静止画で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、言語化して振り返ることができる	
4		
5	【授業単元】 ヘアメイクの働き方（映像系） 【到達目標】 映画・ドラマ・CMなどの映像系で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事内容などを言語化して振り返ることができる	
6		
7	【授業単元】中間テスト ヘアメイク業種・仕事内容・分野・働き方の振り返り 【到達目標】 今まで学んだ内容を振り返り、やりがいなどをプレゼンテーションすることができる	
8		
9	【授業単元】 ヘアメイクの働き方（ブライダル） 【到達目標】 ブライダルヘアメイクで働くことのイメージをつけることができる 仕事の内容などを振り返り、言語化することができる	
10		
11	【授業単元】 ヘアメイクの働き方（フォトスタジオ） 【到達目標】 スチール現場実習時のカメラ前アシスタントの動きや流れを理解出来る フォトスタジオで働くヘアメイクの仕事を理解する 仕事を振り返り、言語化することができる	
12		
13	【授業単元】 ヘアメイクの働き方（サロン） 【到達目標】 美容サロンで働くヘアメイクの仕事をイメージすることができる 仕事を振り返り、言語化することができる	
14		
15	【授業単元】定期試験　振り返り 【到達目標】ヘアメイクの仕事をトータルな視点で判断し、自分にあった職種をイメージすることができる	

【特記事項】

【評価について】

●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	業界特別授業Ⅱ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	岩本・吉田
		授業形態	演習	総時間（単位）	15（1）	開講区分	後期
学科・ｺｰｽ	ヘアメイク科					曜日・時間	集中

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

各企業より人事担当者が来校し、業界周辺の状況と顧客ニーズ、トレンド分析を実施する

【授業を通じての到達目標】

将来の就職分野の状況を知る

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
講師作成資料	

回	授業概要	テスト配点
1	【授業単元】オリエンテーション 【到達目標】就職活動について/企業紹介	
2	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす	
3	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす	
4	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報	
5	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす	
6	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす	
7	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす	
8	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報	
9	【授業単元】オリエンテーション 【到達目標】就職活動について/企業紹介	
10	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす	
11	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす	
12	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報	
13	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす	
14	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす	
15	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報	

【特記事項】

【評価について】

●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	現場トレーニングⅡ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	岩本
学科	ヘアメイク科	授業形態	演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分 曜日・時間	（月） 後期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

美容師および美容学校で長く実務経験のある教員が担当
自分たちの持つイメージを伝えられるようなスタイリング・表現で、イメージ写真を具現化していくことを体得していく
自分の技術をアピールする力を身につけることができる
<教員経歴>
岩本：美容室に美容師として勤務後、本校ヘアメイク科担任として従事している

【授業を通じての到達目標】

ヘアメイクアーティスト・ヘアメイクアシスタントに必要な知識・技術を習得する
ヘアメイク現場の実践イメージを掴むことが出来る

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
毎授業時にteams共有	毎授業時にteams共有

回	科目	授 業 概 要	テスト 配点
1	ブロー演習	ハンドドライ、カールアイロン技術の体得（平巻き・縦巻き・巻きつけの復讐）（スパイラル巻き・毛先逃がし巻き・ストレートアイロン） 基本的なアイロン技術を習得することができる	
2		デンマンブラシによるワンレングスのブローの体得、シルエットの理解 ブラシの使い方を理解することができる	
3		デンマン＆ロールブラシによるワンレングスのブローの体得、ストレートアイロンによる波ウェーブ ワンレングスをブローし、ブラシの違いを理解することができる	
4		ロールブラシによるワンレングスのブロー、 カールアイロンによる波ウェーブ ロールブラシを使ってブローができる	
5		ブロー、アイロン技術を取り入れ、スタイルを完成することができる	
6	シャンプー演習	シャンプーの流れを理解する 相モデルでシャンプーの流れ、洗い方を学ぶ/シャンプーの手順を覚える	
7		中間テスト トリートメントの仕方を理解する ウェット、シャンプー、トリートメントを通しで出来るようになる	
8		マッサージの流れを理解する ヘッドマッサージの技術、手順を覚える	
9		ヘッドスパの流れを理解する ヘッドスパの手順を覚える/頭皮のツボを覚える	
10		時間を意識した施術をする 目標タイム20分で施術が出来るようになる	
11	メンズスタイリング演習	メンズスタイリングとレディーススタイリングの違いを知る	
12		スタイル別ヘアセットの解説	
13		スタイリングベースづくり（ウィッグ使用）	
14		アイロンを使用したスタイリングづくり	
15		ヘアスタイリング剤を使用してスタイル別ヘアセット	

【評価について】
●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	総合演習Ⅱ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	岩本・吉田
		授業形態	演習	総時間（単位）	15（1）	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ファイナンシャルプランナーから社会人として自立するための経済的な知識を学ぶ

【授業を通じての到達目標】

自らの収支に対する意識が持てるようになり、就職後の生活をイメージ出来る

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
毎授業時に配布	

回	授 業 概 要	テスト配点
1	【授業単元】 本講座について説明	
2	【到達目標】 事前準備	
3	【授業単元】 税金・社会保険について	
4	【到達目標】 各種税金の内容について知る	
5	各種社会保険の仕組み、内容について知る	
6	【授業単元】 確定申告について	
7	【到達目標】 確定申告の種類、申告方法について知る	
8		
9	【授業単元】 ライフプラン、生計プランについて	
10	【到達目標】 ライフプラン、生計プランの立て方を知る	
11		
12		
13		
14		
15		

【特記事項】

【評価について】

特別講座は出席評価とする